

## ● 世界の主な地震

令和8年（2026年）1月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

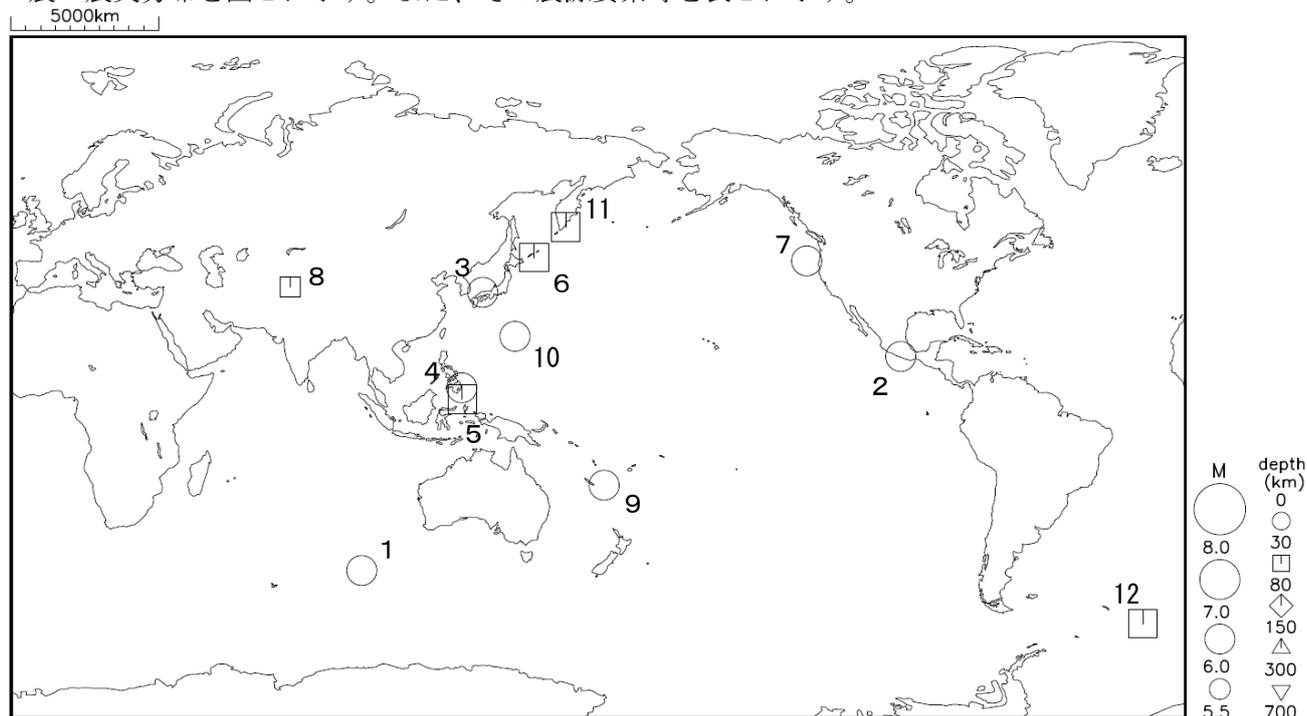


図1 令和8年（2026年）1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和8年（2026年）1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	01月01日10時53分	S45° 36.7′	E 96° 21.5′	10			6.0	南東インド洋海嶺			
2	01月02日22時58分	N16° 52.5′	W 99° 20.1′	18			6.5	メキシコ、ゲレロ州沿岸			
3	01月06日10時18分	N35° 18.9′	E133° 12.8′	11		6.4	(5.8)	島根県東部	負傷者15人など		
4	01月07日12時02分	N 7° 21.7′	E126° 51.5′	22			6.4	フィリピン諸島、ミンダナオ		○	
5	01月10日23時58分	N 3° 46.6′	E126° 59.5′	31			6.4	インドネシア、タラウド諸島		○	
6	01月13日16時34分	N44° 22.3′	E148° 56.3′	30*		6.3	(6.2)	択捉島南東沖			
7	01月16日12時25分	N43° 32.5′	W128° 0.5′	10			6.0	米国、オレゴン州沖			
8	01月19日15時21分	N36° 42.3′	E 74° 26.9′	35			5.6	カシミール北西部	死者2人など		
9	01月19日22時02分	S22° 24.1′	E170° 13.9′	10			6.0	ローヤリティー諸島南東方			
10	01月22日01時37分	N22° 53.1′	E143° 1.4′	15*		6.5	(6.1)	硫黄島近海			
11	01月22日21時42分	N51° 46.7′	E158° 33.1′	52			6.2	ロシア、カムチャツカ半島東岸			
12	01月29日16時30分	S57° 50.2′	W 25° 28.9′	68			6.0	サウスサンドウィッチ諸島			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2026年2月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2026年2月2日現在)、国内は総務省消防庁(2026年2月2日現在)による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。  
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「\*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- 海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による(2026年2月2日現在)。